

岐阜県家庭教育学級実践事例

在宅取組型(小学校)

学校名等	輪之内町立福東小学校
実施日時	令和7年の夏休み
会場	各家庭
参加人数	1年生20世帯の親子
学習課題(分野)	ハッピー!サンキュー!おてつだいビンゴ(自立心・思いやり・家族の大切さ)
運営者の願い	各家庭で子どもが親と相談して簡単に取り組める内容のお手伝い(仕事)を決める。お手伝いに取り組むことで、親への感謝の気持ちを表すことができ、家族の絆を深めることにつながってほしいと考えた。

学習の内容

子どもを取り巻く問題を考え、家庭生活の重要性を理解し実践する。

<やったこと>

- 親子でお手伝いを決める。
 - 9つのお手伝いを決めたら、ビンゴカードに記入する。
- お手伝いをしたらビンゴカードに色を塗る。
- ビンゴが完成したら、親子で感想を記入する。

<お手伝いの内容>

実際に取り組んだお手伝いは以下の通り。

- 1位 はし並べ
- 2位 靴並べ
- 3位 掃除(風呂、廊下、トイレなど)
- 4位 テーブルふき
- 5位 料理

<アンケートより>

【児童】

- おてつだいをすることがたのしかったです。
- ママがよろこんでくれたのでうれしかったです。

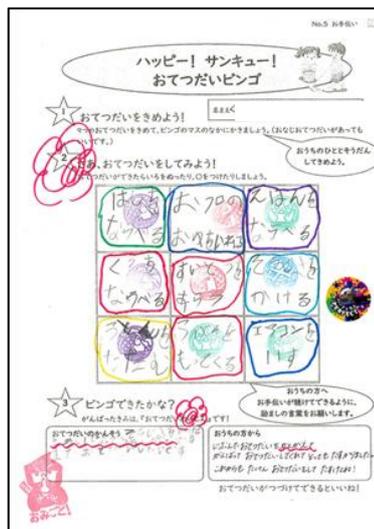
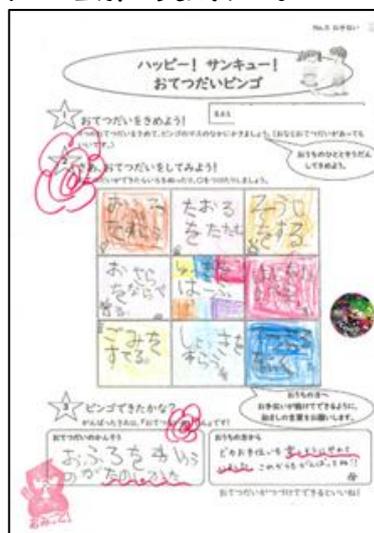
【保護者】

- じぶんでおてつだいをかंगाえてがんばっておてつだいをしてくれてとてもたすかりました。
- どのおてつだいもたのしそうにやってくれました。

<主催者の感想>

昨年度の家庭教育委員さんからの紹介で、夏休みに、県の様式からビンゴカードを参考にさせていただき取組を考えました。親子でお手伝いを決めて、子どもたちは楽しんでお手伝い活動に取り組みました。

保護者の感想からも大変好評だったことが分かりました。また、この活動をきっかけにしてこれからも進んでお手伝いに取り組み、家族の一員としての思いを大切にしたいと思います。



ゲーム感覚のお手伝い

夏休みに、お手伝いの内容を親子で決めて、ビンゴのゲーム感覚でお手伝いすることで、楽しんでできたことがよかった。お手伝いを通して、親子の絆や家族のために働くという思いが深められたと思う。子どもは家族の役に立つことで、自己有用感が得られた。

